

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長：中本高夫 編集責任者：南 順三 印刷所：東京印刷株式会社



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、鳥取県中小企業団体中央会をはじめOB会員の皆様方、そして各関係機関及び、会員所属企業並びにご家族の皆様など、様々な方にご理解とご協力を賜りました事を、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今年も変わらず、よろしくお願い致します。

さて、周年事業から始まった30期の活動ですが、半期も終わり新年となって後半へとさしかかりました。期末に向けては、各委員会においての様々な活動計画のもと、益々充実した事業活動を展開して参ります。

我々の活動拠点である鳥取県西部圏域においては、依然として混沌とした経済情勢ではありますが、日ごろの委員会活動を通じた事業や取り組みの中から、地域の皆様や会員の所属する企業へ少しでも役立つ情報をフィードバックできる事を念頭におき、会員一人一人が団結して30期をまっとうしたいと考えます。

今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中本高夫

表紙写真テーマ

お菓子なサンタさん



サンタのコスプレを快諾され、会場を盛り上げていただいた中村OB会長！！お菓子を配る姿もさまになっている？？まさにお菓子なサンタさんの1枚です。

今月のワンショット

コスプレに燃えた忘年例会！

サンタのコスプレでお菓子を配る中村OB会長に感動し、さらにマツ健サンバの足立会員もバックに写っているこの1枚を収めさせて頂きました。



歴史に残る大忘年例会開催

ゴリエダンサーズはウォーターボーイズを超えたか??

12月16日(木)ホテルサンルート米子において大忘年例会が、米子・境港両市長を来賓にお迎えし、華々しく開催された。

その陰には、企画、準備、練習等2ヶ月を費やした総務・メディアコミュニケーション委員会、そして本年度入会した新入会員で結成されたプロジェクトチームによる、血と汗と涙の隠された物語があった。



ある日、増井総務委員長に招集されたプロジェクトチームメンバーは、この忘年例会に対するただならぬ熱き思いを秘めた委員長のすざまじい殺気を瞬時に感じて。その第一声は、「この忘年例会はただの忘年会ではない！我がメンバーが会員のためにそして会員による手作りで、参加された来賓・OBの皆さん全員が共に楽しんで盛り上がり、一生記憶に残る忘年例会にするのだ！」

この言葉にメンバーは、体が震えるほど思いが伝わり、一丸となって立ち向かったのである。忙しい中、仕事を終えると夜を徹して激論を交わしながらの企画案作り。度重なる変更による挫折感、疲労感、憔悴感。立ち止まることもしばしばあった。しかし、

ある男がこう言った。「ここが中央会魂の見せどころ。我らがやらずして誰がする！」

時には県境を越えて安来舞仙でのリハーサル練習。特に新入会員のゴリエダンスの練習は涙ぐましく、ぜひ、子ども達に見せてやりたかった。お父さん達もやればできるのだと。

本番の成果は、皆さんご覧になったとおり感動ものであった。ダンサーズ紅一点、満梨ちゃんの熱演には会場の視線が釘付け。昨年のウォーターボーイズに決して引けを取らない盛り上がりであった。このことでゴリエダンサーズは、中央会の歴史に新たな1ページを刻むとともに、一生涯の友人として絆が深まったことであろう。そして忘れてはいけない。歴史の陰には、必ず功労者がいるものである。あの妥協を許さない振付師、武海県出向監事こそMVPである。

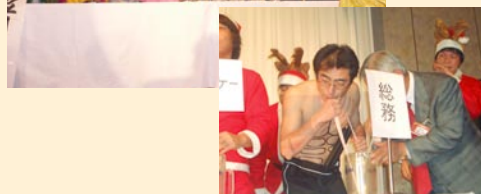
アトラクション第2部は、少々はずし気味のマツ健サンバ司会者による委員会



対抗ハッスル仮装早飲み大会が挙行された。各委員会には、入場曲と衣装を事前に考えていただき、プロレスラーからサンタクロースまで演出もオリジナリティーあふれ、中でも参加者が一番盛り上がりしていた。早飲み会のピッチャーには、青汁、卵、ワサビ入りという栄養満点・刺激たっぷりドリンク。これをもともせずわずか1分で飲み干した優勝チームは、こともあろうに忘年例会担当総務委員会である。この忘年例会にかける気迫により思わず優勝してしまったのだろう。

プロジェクトメンバーの皆さん、お疲れ様でした。そしてありがとう。

帰りにOBの皆さんが口々に「今日の忘年例会は、本当におもしろかったでえ。」と喜んでくださったのが、一番メンバーへのねぎらいでした。大成功おめでとう！！



(記事:昭和入会のマツ健サンバ)

中海TV「7時間討論番組 どう活かす地域社会」



12月15日(日)コンベンションセンターで中海テレビ主催の「7時間討論番組 どう活かす地域社会」が開催された。中本会長、浜田直前会長、2名が参加されました。

まず、中本会長が出演されたが、「地域の活性化」との題目にイズミ出展問題を取り上げた。中本会長は「自分としては人と人との繋がりを大切にしているので地元が出しているスーパーを大切にしたい。」との言葉だった。私自身が思った事は、まず、地域の活性にイズミ出店問題を取り上げるのは今ひとつ合点が行かない。大型店舗が出店する事によって市民が活性化するとは思われないし、そもそも商店街が寂れるのは自分たちの営業不足もあると思う。今の社会、主婦が自宅のパソコンで年収1000万を稼ぐ時代である。それなのに商店街が寂れる事が心配などと言っている事自体が納得いかない思いがした。

午後7時から、浜田直前会長が出演され、「地域を活かす」について語り合った。浜田直前会長の「地域の誇りが大切」という言葉がコーディネーターを釘付けにした事が印象的だった。



第3回中海再生プロジェクト総会

12月6日(日)米子コンベンションセンターで中海再生プロジェクト総会が開催された。

中央会からエコチャレンジ2004内田委員長が参加され、行政、市民団体、市議等各方面の参加者と共に、中海で泳ぐことを目標として再生について熱い議論がかわされた。

今後の動向を注目していきたい。



委員会活動 レポート

突撃!!隣の委員会 お隣さんへHere we go!

～エコチャレンジ2004委員会編～

今月は、エコチャレンジ2004委員会の活動報告として12月18日に、(株)ジーピーオーの社長室で委員長にお話を伺った。

・コンセプトは一人一人のエコチャレンジ



委員会活動として取り上げた経緯は、委員長が境港を中心に活動している NPO 法人「未来守りネットワーク」の勉強会に参加したときに EM 菌の情報を入手し、この活動を行うことで委員会のみならず、会員全員で草の根のようにエコロジー活動を広げていければよい、との想いがあってのことだ。

い、との想いがあってのことだ。

EM 菌を活用して、家庭用洗剤の代わりとして使用でき、またトイレの消臭効力があることを教えていただいたが、一番有効なのは一人一人がこれを活用し洗剤として使用後排水で流すことにより、河川の浄化をすることができるという点に興味を引かれた。

詳細の培養方法や活用法は 1 月例会での講演をお聞きいただきたいが、1 月例会で配布予定の EM 菌培養液は委員会内でメンバーが培養したものなので、単にそれを使用するだけでなくそれぞれ培養し、エコロジー活動をずっと続けていくことが大切だ。

培養にあたって苦労した点としては、菌を相手にしているだけに温度管理にポイントがあり、冷蔵庫の裏やボイラー室等常時温度が高い場所で培養することとガスが発生するためガス抜きが必要な点があったようだ。それらもこの活動によって我々の意識改革により、快適さを追及するのではなく多少の苦労をすることによって得られる充実感とエコロジー意識の高まりを体感してほしい。

成功するポイント!

1. EM、糖蜜（または砂糖）をちょっと多めに入れる。
2. とぎ汁、EM、糖蜜（または砂糖）をよくかき混ぜる。
3. 温かいところ（30～40℃）に置く。冬場は風呂の湯につけておくと良い。
4. 密閉はしっかりとすること。
5. 発酵が始まったら必ずガス抜きをすること。
6. 前回つくった米のとぎ汁 EM 発酵液（上手にできたもの）を 10 分の 1 程度残しておき、その中に新しい米のとぎ汁と糖蜜または砂糖と EM を加えて発酵させる。この作業を繰り返すことによって菌の密度を上げることができる。
7. 糖蜜のかわりに砂糖を使用する場合は、自然塩を少々入れると発酵しやすくなる。

※容器として EM 1 の空きボトルも再利用できます。



(株)EM研究所発行
米のとぎ汁EM発酵液篇より抜粋

12月度委員会報告

総務委員会

平成16年12月3日（金）於：ホールサムインかいけ 出席者／11名
議題／12月忘年例会について

メディア・コミュニケーション委員会

平成16年12月3日（金）於：ホールサムインかいけ 出席者／14名
議題／ハンサム、12月忘年例会について

人づくり委員会

平成16年12月9日（水）於：大連 出席者／14名
議題／新入会員オリエンテーションの反省について

まちづくり委員会

平成16年12月11日（土）於：岩崎館 出席者／11名
議題／企業誘致に成功した町の視察について

経営委員会

平成16年12月7日（火）於：爸爸厨房 出席者／11名
議題／会員企業紹介及び11月担当例会の反省について

政治行政委員会

平成16年12月10日（月）於：岩崎館 出席者／14名
議題／観光・起業班課題の方向性について

国際交流委員会

平成16年12月9日（木）於：松江鮮魚店2F 出席者／10名
議題／レクリエーション例会、海外研修について

エコチャレンジ2004委員会

平成16年12月7日（火）於：海潮園 出席者／12名
議題／1月担当例会役割分担、EM菌作成について

会員拡大特別委員会

平成16年12月14日（火）於：ちゃりん2F 出席者／9名
議題／会員拡大進捗状況、入会申込者審査基準について

※役員会報告・連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。
※詳細については各委員長までご参照ください。

去

昨年は南部町、今年の1月には伯耆町、そして3月には新米子市が誕生する。

我々も市町村合併については何年も前から取り組み、行政や地域に対してその方向性を示したり、勉強も行ってきた。この事は、年度末に発行される委員会報告を読みかえせば、我々の先輩方が行ってきた内容は手に取るように解かる。

今回の市町村合併は行政主体であり、財政面について大きく影響する内容であると思うが、我々が取り組んできたことが幾ばくかの影響を与えたのであろうか？ということをおぼえてしまった。今後の我々には、何かを動かす手法を身につけ、それを活用する取り組みを行い、我々のみならず地域や行政と連携を図り、実際に実現する事を目標とした大きな活動が求められてきているのではないだろうか。

我々の活動は単年度事業であり、一年で結果を求められる事が基本となる。この事については、将来において見直しを図る意見もある。政治を考える。経済について勉強する。地域貢献や環境問題。そして、情報発信等など各年度には色々な委員会が存在するが、委員会名は違い、それぞれの細かな活動手法はちがうにせよ大きな目標は同じはずである。単年度事業ではあるが、先輩方が行ってきた実績を検証し、それをうまく継承していく手法を考えることも我々の役目でもある。

来

本年度の「去・来・現」において「来」は未来・将来等これから先の中央会及び会員のあり方を意味しているものと思っています。

では、具体的な未来像はどうかと聞かれれば簡単には答えられないものです。会の未来像は現会員も含めてこれからの将来の会員が決めてゆく事なので現在の私達だけでは決められる事ではないでしょう。こういう会が良いからそうしようとしても、そうできる程やさしい事でもないようにも思います。

しかしながら、中央会発足の理由や綱領の意味するもの、いわゆる“去”の部分を含めればそれなりに私たちが目指すべき事が見えてくるはず。会員は中央会という環境に道案内されながら自分で成長し、同時に会に働きかけて中央会をより良い方向へと変えてゆくことが理想ではないでしょうか。

英知・友愛・団結の基本理念は同じでも理念のまぜ方は人毎に考え方が違うでしょう。しかしながらその時々で会員皆が考え話し合い、良いと思える事を実践し全体として進化してゆく事ができるような中央会であって欲しいものです。そして、入会して良かったと思えるような会になることを大いに期待します。

現

入会して1年と8ヶ月が過ぎた。何も考えず、ただ参加してきた自分も、少しずつ周りの景色に目を向けるようになってきた。自分は同好会に積極的に参加している一人として、ここにテーマを絞りたい。

先日、外部の方に、「中央会野球部として『中海テレビ放送杯』に参加している意義」を問われた。ドキッとした。考えた事もなかった。諸先輩方が何を目的として対外試合参加を決意し、今まで頑張ってきたのか？この先、我々後輩がどういう思いで意志を受け継いでいけばよいのか？

その方はこう言われた。「中央会を知ってもらおう事が目的ならば、出場し続けることが大切。」と。また、「『中央会』として出場し続けるのが人数的に厳しいのであれば、OBと共に出場する道もあるのではないかと。」同感だった。

バスケットボール部も「境リーグ」に参加している。今年は強力な牽引力を失い、試合に必要な5~7人を集めることすら大変な苦勞を強いられた。来年は野球部の番である。そして両者は、その危機を打開するため、偶然にも同一の後継者を選んだ。

「区切り」は必要かもしれない。しかし、それを越える意味のあることであれば実践すればよい。少なくとも「同好会」はその可能性を持っている。

同好会はどこも、「西部青年中央会」の看板を背負っている。英知も友愛も団結も厳然と存在している。役がなくても熱心と駆けつける人材が育っている。それは共通の趣味を持つ者たちが集まっているのだから、と言われるかもしれない。しかし、それだけではない。そこには魅力があり、中央会を引っ張ってきた先輩方の心がある。こんなことを考えているのは自分だけだろうか？

コピーをして名簿にお貼り下さい

(非営利)

 **有和 豊光** O型
 (有)有和経営センター 取締役
 会計業務・経営コンサルタント
 〒683-0826 米子市西町75番地2
 TEL 34-6171 FAX 22-2679

H 16.12 入会
 (推薦者) 花園 (直) 有和 (寛)
 〈自宅〉米子市皆生温泉1-4-6
 〒683-0001 S44.10.5 TEL 33-1065

〈コメント〉
 2004年12月、入会致しました。入会に際して、数年、色々な事を考え入会に至りませんでした。しかし、お金では買えない、多くの方々と知り合うチャンスを求めて入会いたしました。

昨年12月に入会したため、委員会、例会にはそれぞれ1度しか出席していませんが、1ヶ月で多くの方々とお会いする事ができました。入会する事が目的ではなく入会した後の活動が重要だと思えます。微力ながら皆様の力になれるよう活動していきます。よろしくお願致します。

(政治行政)

 **松田 幸紀** A型
 (株)かばはうす 代表取締役
 居酒屋・スナック
 〒683-0812 米子市角盤町2-15
 TEL 22-7000 FAX 22-7000

H 16.12 入会
 (推薦者) 北口 (智) 松原 (毅)
 〈自宅〉安来市安来町2093-4
 〒692-0011 S49.7.6 TEL (0854) 22-2500

〈コメント〉
 はじめまして。朝日町のほうで、炉端かば、華はうすという居酒屋、スナックを経営している松田と申します。夜の仕事を最初はどうか？と思いましたが、なるべく参加し、皆様とどんどん接して勉強させていただこうと思っています。あと、野球部にも参加させて頂きたいと思っています。また、これから炉端かば、松田をよろしくお願致します。

コピーをして名簿にお貼り下さい

(営利)

 **善本 一** AB型
 (株)フルチャージ マネージャー
 O A 機器販売
 〒683-0067 米子市東町234 明治安田生命米子開発ビル2F
 TEL 31-6551 FAX 31-6550

H 16.12 入会
 (推薦者) 平新 (武) 河津 (横)
 〈自宅〉淀江町佐蛇2123-B202
 〒689-3425 S53.2.22 TEL 080-3388-1256

〈コメント〉
 こんにちは！今回、新入会員として入会致しました株式会社フルチャージの善本と申します。会社も含め自分自身も鳥取県に来てまだ間もないですが、誠心誠意、地域の活性化・発展に努めてまいります。この中央会を通じて仕事面、自分自身の成長と、様々な方面で活躍して参りたいと思っております。社会人としてまだまだ未熟なところが多々あるかと思いますが、これからご指導、ご教授のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

1月役員会報告

1月定例役員会が平成17年1月5日(水)、米子食品会館において開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・1月・2月例会の件
- ・その他

※なお、詳細については委員長までご参照ください。

1月例会案内(オープン例会)

と き：平成17年1月18日(火) 18:30~

と ころ：米子全日空ホテル2F

講 師：日本食品工業(株) EM菌事業部部長 渡辺敏樹氏

演題：「EMの力」台所から地球を守ろう

担 当：エコチャレンジ2004委員会

御誕生

おめでとうございます

山本竜男会員

12月15日 長男 竜空(りく)くん

